

～40周年ありがとうございます～

今年2023年は私ども「北海道ムーブメント教育研究会」にとって、大切な記念すべき年となりました。研究会発足40周年を迎えたのです。記念として、10年ぶりとなる研究大会を催すこともできました。開催にあたりましては、会場校として、さらに公開授業に際して4年生の児童の皆さんにご協力いただきました札幌市立豊園小学校、また研究保育にあたりましては、札幌ゆたか幼稚園の多大なるお力添えをいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。



教育の世界では、いま「個別最適な学びと協働的な学びとの一体的な充実」が謳われています。つい先日、ある学会で石井英真先生（京都大学）のお話を聴く機会がありました。そのお話の一部分を切り取ってしまうこととなりますが、印象的な言葉がありました。「実は、個別最適な学びと協働的な学びで大切なことは、『集って学ぶこと』による全身の感覚、共通感覚が非常に大切である」という言葉です。私たちムーブメント教育が大切にしていることと軌を一にしていると思わずにはいられませんでした。

これからの40年も頑張ってお参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局長 高倉弘光)

～友だちといっしょだから楽しい～ 心と体が動く音楽活動・音楽授業

本会発足40周年を記念し、9月22日に札幌市立豊園小学校にて【第17回研究大会『～友だちといっしょだから楽しい～心と体が動く音楽活動・音楽授業』】が行われました。

研究保育では、認定こども園札幌ゆたか幼稚園 ひまわり組の活動を、両山朋未先生・前山恵美里先生が行いました。また、研究授業では、豊園小学校4年1組の鑑賞「剣の舞」（ハチャトリアン）の鑑賞の授業を、筑波大学附属小学校の高倉弘光先生が行いました。どちらも音楽を通して心やからだを使い、子どもたちの意欲的で積極的な様子が見られました。また、その後の研究協議やワークショップでは、たくさんの先生方にご参加いただき、盛会に終えることができました。



ワークショップでは、小学校の授業における「学習のねらい」を意識しながらも、ムーブメントを取り入れて行える活動を紹介していただきました。

考える力・感じる力を存分に発揮させ、頭・心・からだを目一杯使って表現する、子どもたちの素敵な姿がたくさん見られました。

